

安管協レポート

〈令和7年度 第1号〉

一般社団法人
長崎県安全運転管理協議会
(令和7年8月7日発行)

令和7年上半期における交通事故の発生状況と特徴点

長崎県内における**令和7年上半期（6月末現在）**における交通事故の発生状況は次のとおりです。

	令和7年6月末	前年同期比
発生件数	1, 152件	－17件
死者数	13人	＋1人
負傷者数	1, 414人	－26人

交通事故の主な特徴点

- 1 発生件数、負傷者数とも前年比減少しているが、死者数は増加している
- 2 歩行者事故では道路横断中が約7割を占める
- 3 高齢歩行者の事故では、道路横断中が8割を超える

交通死亡事故の主な特徴点

- 1 死者数は前年同期と比べて1人増加している
- 2 死者13人のうち12人は高齢者である
- 3 死者13人中3人が歩行中の事故である
- 4 死亡事故の13件中11件は高齢運転者による事故である
- 5 原因別では、安全確認や運転操作を怠った安全運転義務違反による事故の死者が13人中7人を占めている

このように、上半期では交通事故の発生件数及び負傷者数は、前年と比べると減少していました。

しかし、下半期（7月）に入ると・・・

発生件数及び負傷者数が増加し、全てが前年より増加に転じています。

《「安管協レポート」の発行にあたって》

長崎県内における交通事故の状況や、交通事故防止に役立つ情報をお伝えする場として、このたび「安管協レポート」を発行することといたしました。

タイムリーな情報発信を目的に、ホームページ上での掲載のみとし、随時発行いたします。事業所での安全管理にお役立ていただければ幸いです。